

「県内一斉商品量目立入検査」を実施しました。

県及び特定市(福島市、会津若松市、郡山市及びいわき市)は、7月と11月を「商品量目適正計量強化月間」として、商品の内容量が表記されたとおり適正に計量されているか確認するため、県内一斉に「商品量目立入検査」を実施しています。

令和2年11月期においては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染状況等を考慮し、各自自治体において立入検査の実施について(実施時期を含め)可否を判断した結果、県及び郡山市においては立入検査を実施しないこととし、福島市及びいわき市においては実施時期を12月に変更して実施することとしました。

今期(令和2年11月～12月実施分)の検査結果は、次のとおりです。

1 立入検査の概要

- (1) 実施期間 令和2年11月25日から令和2年12月17日まで延べ10日間
- (2) 実施区域 県内3市(福島市・会津若松市・いわき市)
- (3) 対象事業所 スーパーマーケット、食料品小売店等 計18事業所

2 商品量目の検査結果について

(1) 検査数及び不適正商品の状況

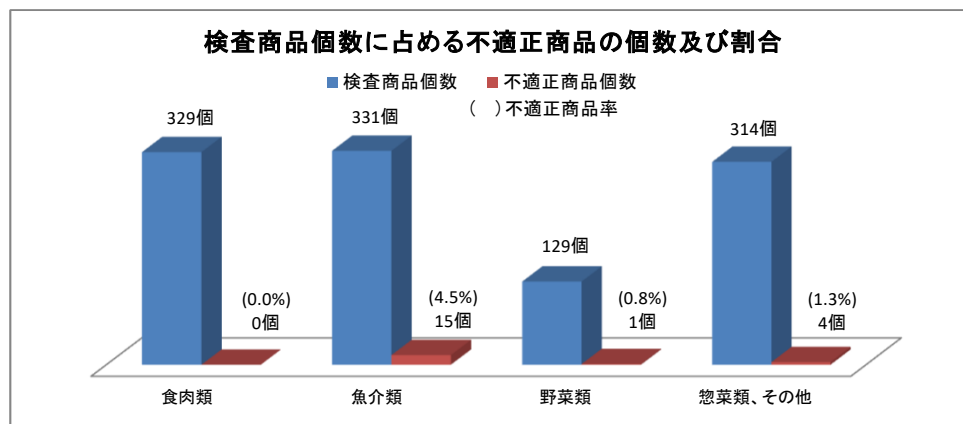
検査主体(実施区域)	検査事業所数	不適正事業所数	検査商品個数	不適正商品個数	不適正商品率
県(実施せず)	—	—	—	—	—
特定市(3市)	18事業所	3事業所	1,103個	20個	1.8%
合計	18事業所	3事業所	1,103個	20個	1.8%

※不適正事業所とは、検査商品個数に対する不適正商品個数の割合(不適正商品率)が5%を超えた事業所をいいます。

※不適正商品とは、内容量の不足が、計量法に定める許容誤差(量目公差といいます。)を超えている商品をいいます。

(2) 商品分類別の不適正商品の状況

商品分類	検査商品個数	不適正商品個数	不適正商品率
食肉類	329個	0個	0.0%
魚介類	331個	15個	4.5%
野菜類	129個	1個	0.8%
惣菜類、その他	314個	4個	1.3%
合計	1,103個	20個	1.8%



(3) 不適正商品の原因

不適正商品20個の主な原因は、計量時における風袋量の設定誤り及び乾燥等の自然減量によるものでした。パック商品のトレーやラップなどの包装、わさび等の添え物を「風袋(ふうたい)」といいますが、風袋は商品ではないので、内容量は風袋量を差し引いて計量しなければなりません。

また、乾燥等による自然減量や、はかりの操作ミス等による計量などにも注意が必要です。

(4) 不適正商品のあった事業所への対応

不適正商品のあった事業所に対しては、その原因を確認し再計量を指示するとともに、適正な風袋量の設定等、正確計量の励行について指導しました。

3 使用している「はかり」の検査結果について

(1) 検査数及び「はかり」の使用状況

検査主体(実施区域)	検査事業所数	不適正事業所数	検査台数	不適正台数	不適正台数率
県(実施せず)	—	—	—	—	—
特定市(3市)	13事業所	0事業所	99台	0台	0.0%
合計	13事業所	0事業所	99台	0台	0.0%

(2) はかりの不適正な使用

今回の検査においては、はかりの不適正な使用は認められませんでした。

はかりは、水平に据え付けて使用しなければ適正な計量が出来ず、誤った計量をする原因になります。

また、作業室の出入口付近や空調設備の送風口付近で計量を行う場合は、風の影響にも注意が必要です。

(3) はかりの不適正な使用が認められた場合の対応について

不適正な状態でのはかりの使用が認められた事業所に対しては、水平の調整方法等、適正な状態での使用を指導するとともに、はかりの使用環境の定期的な確認についても指導することとしています。